

学校教育目標	[学び合い、支え合い、高め合う] 1 学びを深め、創造力と実践力を養う(知) 2 互いを認め、誠実に生きる(徳) 3 豊かな心と健康な体をつくる(体) 4 地域の一員、国際社会の一員として自立する(公・関)				
	学校概要	創立 54 周年	学校長 富樫 哲一	副校長 吉田 正彦	2 学期制
児童生徒数:		362 人	主な関係校: 上菅田笹の丘小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上菅田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
上菅田中ブロック 〈言語能力〉 〈協力して学び続ける態度〉 上菅田中学校 〈言語能力〉 〈自立 共生 創造力〉	上菅田中 上菅田笹の丘小	自ら学ぶ子ども。仲間や地域とともに学ぶ子ども。 ○「自ら学ぶ子ども」とともに学ぶ子どもの育成を目指し、9年間を見通して必要な資質・能力について明らかにし、ブロック内の共通理解を図る。また、「授業」「人」「学びの場」の各つながりの取り組み内容の重点化をブロック内で図る。 ○1年生が中学校生活の円滑なスタートを切るための小中の協力体制を強化する。 ○小学校の統合に伴う、小中一貫推進ブロックの在り方の見直しをすすめる。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年に開校した上菅田笹の丘小学校とともに「地域の学校」としての存在感を高めます。 ・すべての教科の授業や諸活動を通して言語能力を高め、思考力・判断力・表現力を磨きます。 ・常に生徒理解の深化に努め、生徒理解に基づく丁寧な生徒指導とわかりやすい授業づくりを進めます。 ・学級活動・生徒会活動・学校行事への取り組みを通し、自分たちの手でよりよい集団を築く力と自己肯定感を高めます。 ・地域行事への協力や地域防災への中学生の参画を通し、地域との連携、地域への貢献を進めます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①PDCAサイクルを意識しながら、生徒がより長期的な視点で計画が立てられるように指導をしていく。②GIGAスクール構想については、引き続き教職員が活用できるように環境を整えていく。
担当 学習指導部	
徳 豊かな心	①各発達段階に応じて、特別の教科「道徳」の時間を核とした道徳教育の充実を図る。また、人権の視点から自らの言動を振り返る力と思いやりの心を育てる。
担当 人権担当・学習指導部	
体 健やかな体	①感染拡大防止対策を徹底する。②1校1実践の体力アップの内容を体力の向上を体感できるものに改善する。より理解が深められるように、他の部署と連携をとり企画や発信をする。また、保健の授業で外部の専門講師を呼ぶなどして、保健教育の充実を図る。③食育を通し、健康的な生活を送るための知識及びマナーの定着を図る。
担当 保健指導部・保健体育科	
公開 特別活動の充実	毎年課題にあげられる委員会活動の内容を学級組織の活動として広げていき、全校生徒による生徒会活動としていく。そのため、担当職員による発信(教職員の意識向上)生徒会本部の運営(主体的な自治的取組)を継続して行っていく。
担当 特活指導部	
いじめへの対応	①いじめの未然防止のための授業づくり、集団づくりにさらに力を入れると共に、定期的に教育相談や生活アンケートを行い、些細な変化を見逃さない職員体制を築く。②いじめ防止対策委員会の取り組みを継続し、細かな情報共有を常に行うことにより、組織的な対応をより強化していく。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①日々の教育実践の中で、教職員の資質・能力の向上を図る。②教育活動および組織(分掌)を見直して、働き方改革を進める。
担当 教育課程検討委員会	
生徒指導	①日常的な観察と声かけやチャンス相談、定期相談を通し、個に応じた指導や支援を継続し、望ましい集団作りへの土台を築き、集団の成熟と個の成長を促す。②教職員間の適切な報連相と情報発信をより充実させる。また家庭連絡や面談などを通して保護者との間に信頼関係を築く。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	①学習支援のための別室指導を、オンライン学習も組み合わせ充実させていく。②不適応生徒への支援も同じ内容が維持できるよう継続していく。③合理的配慮に基づいた支援になるよう支援を実践していく。
担当 特別支援教育委員会	
地域連携	①地域清掃や地域祭礼でのYOSAKOIソーランの披露を通して、地域への感謝の気持ちを深め、地域の一員である自覚を高める。 ②地域防災、地域清掃を通し、地域の一員であることを意識できるよう支援する。
担当 地域連携委員会・保健指導部	
安全管理と環境整備	①定期的な施設点検を徹底し、生徒・教職員誰にとっても安心安全な教育環境を整える。 ②学校内での安全な行動を考えられるよう支援する。また、引き取り(引き渡し)訓練の充実を図る。 ③学校・地域と連携した持続可能な学校花壇整備や校内掲示物、教室の学習環境整備を推進する。
担当 保健指導部・管理部	